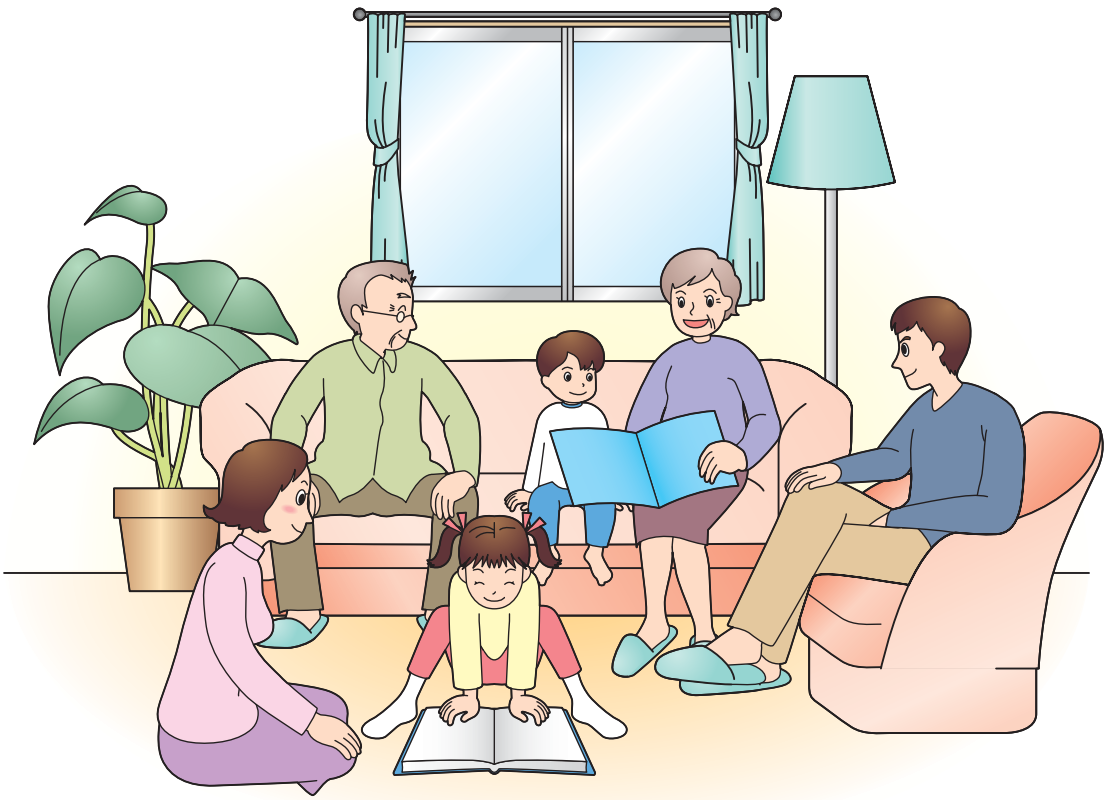
ＬＰガス
安全のしおり

《家庭用周知文書》



株式会社 サンワ

群馬県前橋市元総社町 521-7　TEL.027-252-6131

ホームガスショップ沼田 TEL.0278-24-5525
ホームガスショップ吾妻 TEL.0279-67-2021
ホームガスショップ前橋 TEL.027-261-0131
ホームガスショップ高崎 TEL.027-360-4311
ホームガスショップ太田 TEL.0276-48-4121
ホームガスショップ安中 TEL.027-380-2600
ホームガスショップ真岡 TEL.0275-84-0551

このしおりは液化石油ガス法にもとづき、ご家庭でご覧いただくものです。

LPガスを安心・快適に、お使いいただくために。

●いつもＬＰガスを安心・快適にお使いいただくために、ＬＰガスおよびガス器具などについて正しいご理解をいただくことが大切です。
●ガス器具の性能、正しい使用方法、お手入れの方法、保管方法などは取扱説明書や警告表示などをご確認の上、正しくご使用くださるようお願いいたします。

日頃お使いになるガス器具の安全管理は、ご自身の手で責任を持って行ってください。

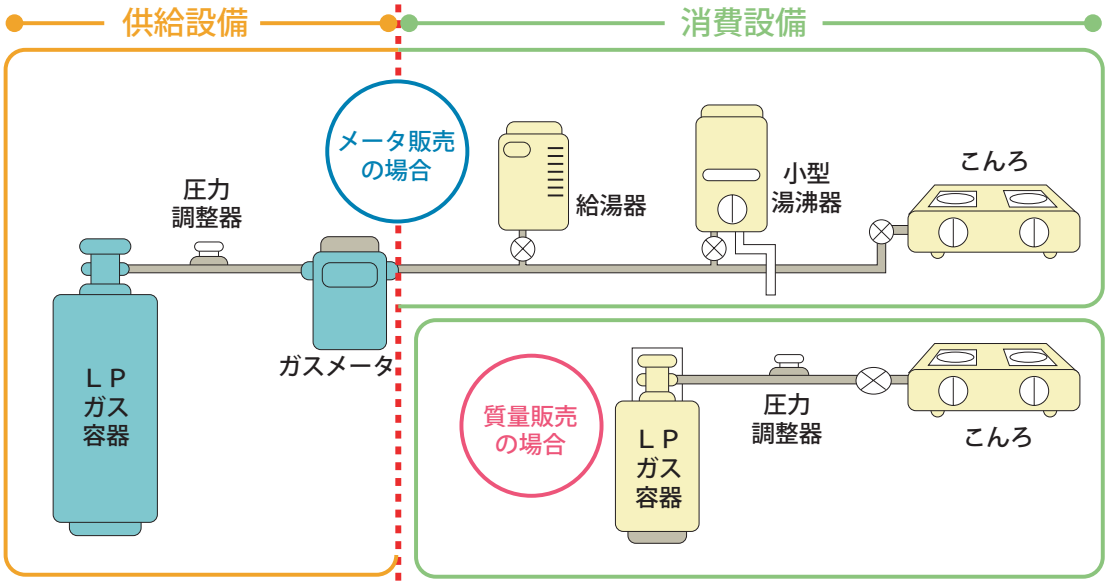
ＬＰガス設備は、法律により「供給設備」と「消費設備」の２つに区分されています。

供給設備とは

容器からガスメーターまでのことです。この部分はＬＰガス販売店が責任をもって管理いたします。

消費設備とは

ガスメーターの出口からガス器具まで（メーターのない場合は、容器からガス器具まで）のことです。お客さまご自身の責任で、安全にご使用ください。



安心・安全のために点検・調査にご協力ください。

皆さまの安心・安全のため、保安機関としての認定を受けたＬＰガス販売店から依頼を受けた保安機関が、液体化石油ガス法にもとづき、次のような点検・調査を行います。ご協力お願いいたします。

１．容器交換のつど

ＬＰガス容器・圧力調整期・容器バルブ・ガス供給管などの外観点検。

２．１年に１回以上（地下室など）

配管からのガスもれ調査など。

３．４年に１回以上

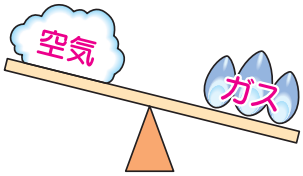
圧力調整機の機能点検、配管のガスもれ調査、ガス機器や給俳気設備等の調査など、ＬＰガス設備全般についての点検・調査。

※点検･調査の結果、改善を指摘された設備については、改善や器具の交換などにご協力ください。

ＬＰガスの性質

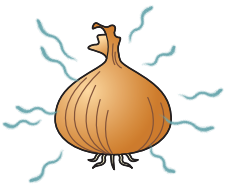
1 空気よりも重い

ＬＰガスは空気より重く、もれると低いところや物かげにたまる性質があります。もしガスがもれたら、特に下の方の風通しを良くしてガスを屋外に追い出しましょう。



2 ニオイをつけてある

ＬＰガスそのものは無色無臭ですが、もれたときに分かるようにタマネギが腐ったようなニオイをつけてあります。



3 燃焼にはたくさんの空気が必要

ＬＰガスが燃焼するためにはたくさんの空気（酸素）が必要です。室内でガスを使用するときは、十分に換気をしてください。

4 液化した状態で容器（ボンベ）に入っている

ＬＰガスは圧力をかけて液化した状態でＬＰガス容器（ボンベ）に入っています。

5 クリーンなガス

ＬＰガスは石化エネルギー（ＬＰガス・ＬＮＧ・石油・石炭など）の中で地球環境に与える悪影響が最も少なく、ＬＮＧ（天然ガス）と共にクリーンエネルギーである（平成１０年６月１１日付資源エネルギー庁総合エネルギー調査委員会需要部会中間報告）と位置づけられています。

こんなときはＬＰガス販売店にご連絡ください。

- ＬＰガス設備の工事や新しくガス器具を取り付けるとき、または取りはずすとき。
- 新築・改築・転居などで、新しくＬＰガスを使うとき、またはやめるとき。
- ガス以外の工事（水道工事など）を行うとき。
- ストーブなどの季節的器具で、取り付け・取りはずしが困難なとき。

※配管、ふろがま、湯沸機、煙突などの工事を行うときは、法律上の資格が必要です。
※ふろがまや湯沸機の中には給気口や排気設備が必要な場合があります。

ガス器具をご使用の際は

- ＬＰガス容器具を必ずご使用ください。都市ガス用器具は使用できません。
- ＬＰガス用器具は全国共通です。
- ＬＰガス器具は、取扱説明書をよく読んでから、正しくご使用ください。
- ガス器具の保証書は大切に保存してください。

新しくガス器具をご使用の際には、ＬＰガス専用の器具であることを確認してください。

※ＬＰガス用器具には右のような表示があります。

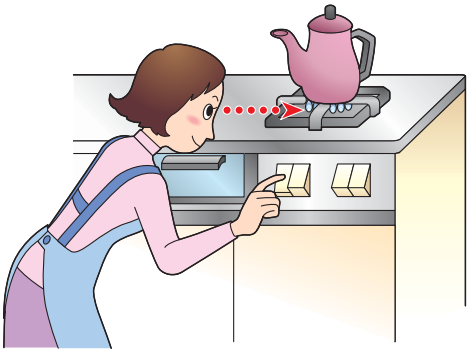
製造会社の銘板例

LPガスを正しく使って、いつも安心。

点火・消火は必ず目で確かめてください。

●ガス器具の近くに、燃えやすいものは置かないでください。
●風や煮こぼれで火が消えたり、天ぷらを揚げているときに、鍋の中の油に火が着くことがあり、たいへん危険です。ＬＰガスを使っているときは、その場を離れないようにしてください。

※立消え安全装置や過熱防止装置（あげルック）など、安全装置付きのこんろをおすすめします。



ガス栓は、使用時には全開で、使用後は完全に閉じてください。

●ＬＰガスをお使いになるときは、ガス栓を全開で、また外出するときやおやすみ前には、ガス栓、器具詮が閉まっていることを確認してください。
●使用していないガス詮には、必ずゴムキャップをつけてください。
●長期間ご不在になるときは、容器バルブを閉め、ＬＰガス販売店にご連絡ください。
●配管やガス栓をアースの代わりに使用しないでください。

いつも青い炎でお使いください。

●ＬＰガスをお使いのときは、必ず「青い炎」でお使いください。赤っぽい炎は、不完全燃焼をしている炎です。

酸素過多

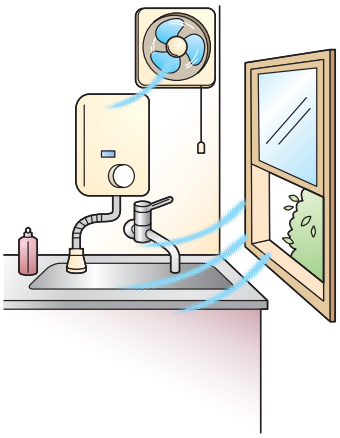
酸素不足

完全燃焼

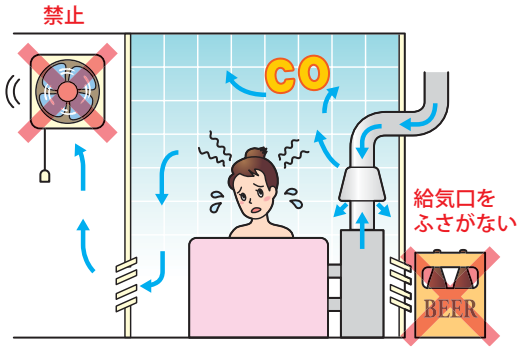
LPガスを正しく使って、いつも安心。

換気に注意してください。

※ＬＰガスが燃えるためには、たくさんの空気を必要とします。換気が十分に行われないと酸素不足や室内に排気ガスが充満して不完全燃焼を起こし、有害なＣＯ（一酸化炭素）を発生するため、たいへん危険です。



●室内でガス器具を使用するときは、換気扇を回したり、ときどき窓を開けて十分に換気をしてください。
●小型湯沸機は長時間使用しないでください。
●下のような自然排気式のふろがまを使用するときは、換気扇を使用しないでください。（排ガスが逆流してCO（一酸化炭素）中毒を起こすことがあります。）
※排気口はふさがないでください。
●排気筒が壊れていたり、鳥の巣などでふさがれてしまうと適切な排気ができなくなります。こまめに点検しましょう。



ゴム管はときどき点検し、早めに交換してください。

●ひび割れなどが発生しているゴム管は使用しないでください。
※ゴム管からのガスもれは、石けん水を塗り泡が出るかでわかります。（泡が出た場合はすぐに新しいゴム管に取替えてください。）また点検後はきれいに拭き取ってください。
●ゴム管は、ガス栓の赤い線のところまで差し込んで、ホースバンドでしっかりとめてください。
●ゴム管は長くしたり、物かげを通したり、折り曲げたりしないでください。
●三つ又は危険なので、絶対に使用しないでください。

新脱着が簡単で確実なコンセント型の専用ホースをおすすめします。

ガスもれ防止のため、湯沸機やふろがまなどの固定式燃焼器とガス栓の接続にゴム管を使用することは禁止されています。
直接ねじ接続するか、上のようなねじ接続の専用ホースで接続してください

三つ又

◆ガス器具のお手入れ◆

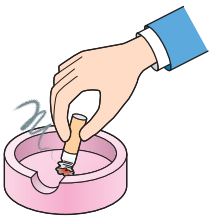
ガスこんろなどの目詰まりは、不完全燃焼の原因となります。
ときどき器具ブラシなどで掃除をしてください。

お願い！ ガス器具のお手入れで、ネジなどを取りはずす必要がある場合は、自らお手入れせずに、必ずＬＰガス販売店へご連絡ください。

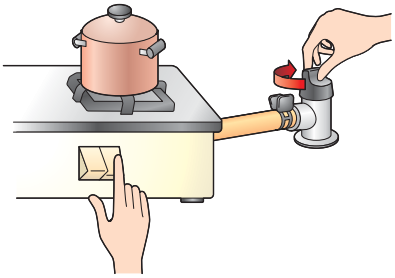
もしもガスがもれたら！　◆ガスのニオイに気づいたら◆ガス漏れ警報機が鳴ったら

室内の火は全部消してください。

※マッチをすったり、タバコを吸ったりしないでください。



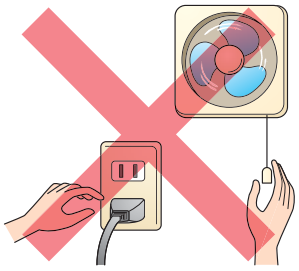
ガス栓・器具詮を閉めてください。



コンセントやスイッチに触れないでください。

火花が出てガスに着火するおそれがあります。

※換気扇は絶対に回さないで！回っている換気扇はそのままにしてください。



扉や窓を十分に開けてください。

風通しを良くしてガスを屋外へ追い出してください。

※ＬＰガスは下のほうにたまるので、特に下のほうの風通しを良くしましょう。

ＬＰガス販売店または保安機関に連絡してください。

- 連絡の際は氏名・住所・状況などをお知らせください。
- ＬＰガス販売店または保安機関の点検を受けるまでＬＰガスを使わないでください。

※万が一、ＬＰガスによる災害が発生した場合にも連絡してください。

小型容器の取扱いについて

- 容器が倒れないよう、平らな場所においてください。
- 容器を横に寝かせて使用しないでください。
- 直射日光や火気をさけてご使用ください。
- 使用後は、必ず容器バルブを閉めてください。
- 容器は火気のない風通しの良い屋外に保管してください。
- 不要になった容器は、必ずＬＰガス販売店に返却してください。

※ＬＰガスが残っている容器を捨てると法律により罰せられます。

いつも安心の安全器具や

安全装置付きガス器具

をおすすめします。

マイコンメーター

ガスもれなどＬＰガスの流れに異常があると、ガスメーターに内蔵されたマイコンと遮断弁が働き、ガスを遮断します。

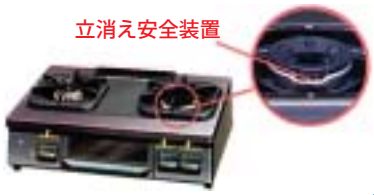
Ｓ型、ＳＢ型、Ｈ型マイコンメーターは大きな地震などの際にもガスを止めるなど、保安機能がさらに充実しています。

ヒューズガス栓

ゴム管がはずれるなどしてＬＰガスが大量に流れたとき、自動的にＬＰガスを止め、ガスもれを防ぎます。

立消え安全装置付きこんろ

風や煮こぼれなどで火が消えると、安全装置が働いて、自動的にＬＰガスを止めます。



過熱防止装置付きこんろ（あげルック）

天ぷら鍋などが熱くなりすぎると自動的にＬＰガスを止め、過熱による火災を未然に防ぎます。

ガスもれ警報器

ガスもれを素早く感知し、ブザーや音声で知らせます。

ＣＯ（一酸化炭素）中毒事故防止に有効です。

屋外設置式のふろがまたは給湯器

屋外の空気を使って燃焼し、排ガスも屋外に排出するので、不完全燃焼対策に有効です。

ＣＯ（一酸化炭素）警報器

不完全燃焼などで発生したＣＯ（一酸化炭素）を感知し、ブザーや音声で知らせます。

不完全燃焼防止機能付き小型湯沸器

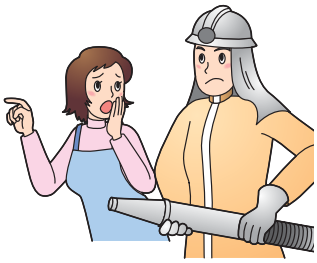
換気不足や器具の目づまりなどで、不完全燃焼をはじめるとＬＰガスを止めます。

不完全燃焼防止機能の付いていない小型湯沸機は、不完全燃焼によるＣＯ（一酸化炭素）中毒事故の危険性があり危険ですので早めに取り替えてください。

災害時の対策は…

火災のときは

容器バルブを閉め、消防団員などに容器の位置を知らせ、後の処理を頼んでください。



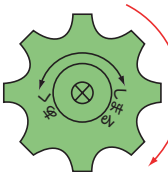
地震のときは

ガス栓、器具栓を閉め（火をすべて消し）、二次災害防止のため、ゆれが大きかったときは、おさまった後で戸外の容器バルブも閉めてください。

台風・洪水の恐れがあるときは

容器バルブをしめ、容器が倒れたり流されたりしていないか、しっかりと固定されているかを確かめてください。

容器バルブの閉め方



容器バルブ

災害のときに容器バルブを閉めることは、二次災害の防止にも役立ちます。容器バルブを閉めるときは、時計と同じ右に回すと閉まります。

※異常があった場合は至急、ＬＰガス販売店または保安機関へ氏名・住所・状況などをお知らせください。
※再びガスを使うときは、必ずＬＰガス販売店または保安機関の点検を受けてからお使いください。

特に雪の多い地方対策

●雪囲いや容器小屋の設置

雪でメーターが埋まったり、屋根からの落雪で調整機や配管、メーターが壊れるおそれがあるので、雪囲いや容器小屋のまわりは除雪してください。

●排気筒（煙突）の補強

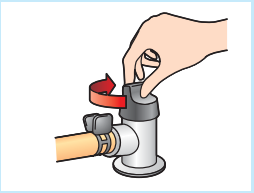
排気筒（煙突）は丈夫な支柱で補強してください。

●雪おろし

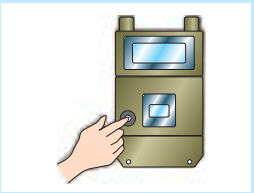
雪おろしの際は、ＬＰガス設備に損傷を与えないように十分注意してください。

マイコンメーターがガスを遮断した後、自分でできる復帰方法

1 ガス栓・器具詮をすべて閉じる。



2 復帰ボタンを押してすぐ離す。そして１～２分待つ。



※ボタンにキャップのあるタイプもあります。
※復帰ボタンを押した後、ガスもれがないかどうかをマイコンメーターが１～２分間、安全確認をしています。異常がなければ、赤ランプ（または液晶）の点滅が消え、ガスはもとどおりご使用になれます。
（なお、正常に復帰しない場合や、不明な点がある場合はＬＰガス販売店にご連絡ください）

災害に強い LP ガス

過去、地震などの大規模な災害時において、どの被災地においてもライフラインの早期復旧が課題となりました。ＬＰガスは復旧の早さや避難所などですぐに対応できることなどから、多くの人の暮らしに安心をもたらしました。その実績からさまざまなところで、ＬＰガスは「災害に強い」ことが実証されています。